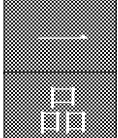


こぼれ話

少し前まで市内でも夜になると「占い師」が現れ仕事をしていた。少ない市民は訝しがっていた。しかしなかにはそうは思わない方もいた。「私もいつが占ってもらいたいごどがあんがや」と家族に言っていた。77歳の喜寿を迎えた初老のご婦人である。この方は年齢の割には元気である。食事も普通に食べるし魚も肉もなんでもござれ、

であり、朝は30分ぐらい散歩を継続している。そんな彼女がある夜あの占い師を訪ねた。「どんなことを知りたいのですか」と聞かれた。「私は何歳まで生きるのですか？」と尋ねた。占い師はガラス玉をしつと観ながら言った。「大丈夫90歳まで生きます。そして90歳になれば静かにお眠りになります」と告げた。彼女は喜んだ。それを家族に言った。息子が言った「母さん！そんなあたり前のことを聞くのに金を払ったのすか？」と。母……

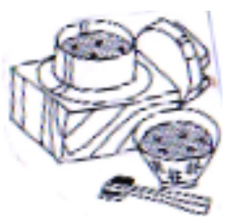
わが家の



【ホウレン草の海苔巻】

「材料」ホウレン草、梅干しの果肉、出汁の素、削り節、つゆ。

「つくり方」わが家の庭の畑のホウレン草が最盛期を迎えています。毎日収穫できるほどです。この旬のホウレン草を調理しない手はありませんね。



わが家は海苔で巻いて食べると定番です。

①ホウレン草は湯がいて食べます。梅干しの果肉はほぐしておきます。海苔は5センチの長さ、幅3〜4センチで切っておきます。②ボールに①のホウレン草と梅干しの果肉、それに削り節を加え、出汁の素とつゆを加え、よくかき混ぜ味を浸みこませます。味を確かめ足りないものは加えます。③用意した海苔に果肉入りホウレン草を数本(4〜5本)並べ、巻き上げます。これで完成です。果肉、削り節、つゆのコラボが最高です。(西町/Y・K)

平和大行進

沿岸コースを2日間かけて元気よく 沿道募金に協力 田野畑熊谷副村長も参加

2018原水爆禁止国をいただきました。民平和大行進沿岸コースは6月12日、田野畑村から岩泉町、山田町を、13日には宮古市、大槌町、釜石市と歩きました！

静岡県から通し行進者として小林和江さん(静岡県平和委員会・新婦人・消費税なくす会)も元気に歩きました。小林さんはなんと、太極拳の師範を勤める方でした。行進では原爆被爆者援護法の制定求め「沿道募金」もお願いし、みなさんからありがたいことに2日間で、約一万円のご協力をいただきました。



市場前で行われた出発式 左から2人目落合市議

までです。平和行進の参加者は、そのチラシやポスターを自治体のみなさんにも届けてきました。

田野畑村では熊谷副村長が出迎え、懇談後は雨の中を通し行進者の小林和江さんには傘をさしてくれて平和行進にも参加一緒に行進しました。

日本政府も条約批准を 国際的にも「核兵器禁止条約」が国連で採択され、唯一の被爆国である日本政府の条約批准が求められています。

読者の文芸欄

短歌 金沢邦臣(田鎖)

●いつこより流れ来たりし石油かん橋のたもとの流木の木
●つゆ空に閉し込められし日常の明けしつゆもすく猛暑なり

自注/今年の夏はふつうの夏であればいいね。

コンブ移植へ

磯焼け対策としてコンブ資源回復事業に2千万円 海藻不足はウニ、アワビ漁に連動



動かないように水中ボンドで固定し、それに移植するなどが検討されています。

6月定例会議に採介藻漁業資源回復実証施設整備事業が提案されています。

これは最近連続して磯焼け(海底の岩にコンブ類が育たない)状況が続き、それがウニ、アワビ不漁の要因となっていることから、養殖コンブを移植する事業です。

この事業は磯焼けを克服する目的で、養殖コンブを取り外して海底の岩場に移植します。その手法は、アンカーを海底に打ち込み波で

市内3漁協がそれぞれ準備に入り、来年度までは移植状況を観察し、本格的な施設設置は32年度以降の予定です。

遅きに逸したとはいえ重要な事業

現地の漁業関係者は前から磯焼け対策を国が支援することを要望し、今回やっと実現した格好です。この事業が事態打開の一助となるよう期待されます。



が酒は用意すつからす」と言ってみて欲しい。・・・あく疲れる!

